

平成24年度最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動の選定結果について

平成24年8月9日

最先端研究開発支援プログラム担当室

1. 8月9日に開催した最先端研究開発支援推進会議において、平成24年度最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動及び助成額を別紙の通り、決定した。

平成24年度 最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動及び助成額

別紙1

平成24年8月9日
最先端研究開発支援推進会議

1. 国際シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	助成額
国立大学法人東北大学	第3回国際集積化マイクロシステムシンポジウム	江刺 正喜	本プロジェクト全体の目的であるヘテロ集積化(微細集積回路と異種要素を一体化、異種要素や異種材料をマイクロシステム化する技術)に関して優れた研究業績を挙げている海外の研究者が招聘講演を行う他、5つのサブテーマの進捗状況報告、招待講演及びパネルディスカッションを行う。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	9,826千円
国立大学法人東北大学	第3回「スピントロニクス集積システム」CSIS国際シンポジウム	大野 英男	スピントロニクスに関して、材料、素子、プロセス、回路、設計ツール、応用の多岐にわたる分野の海外トップレベルの研究者の招聘講演を行うとともに、本プロジェクトで得られた研究成果の共有を図り、研究目標達成のためのより良い方策について包括的な議論を行う。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	3,631千円
国立大学法人東京大学	第4回超小型衛星シンポジウム	中須賀 真一	本プロジェクトでの研究開発成果を基に、超小型衛星分野において活発な活動を行っている世界のリーディングパーソンを招集し、技術研究に関する討論を深め、プロジェクトに反映するとともに、4つの課題に関する公衆論文発表及びワークショップ等を通じて、超小型衛星技術において日本のリーダーシップの一層の浸透とコミュニティーの醸成を図る。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	8,973千円
国立大学法人東京大学	第1回「未解決のがんと心臓病を撲滅する最適医療開発」シンポジウム	永井 良三	本プロジェクトで重要な位置付けである「慢性炎症とホメオダイナミクス」及び「オーダーメイド医療への応用を目指す心臓シミュレータの開発」等をシンポジウムのテーマとして、これまでプロジェクトで得られた研究成果や中心研究者の研究手法について討論を行う。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	11,073千円
国立大学法人東京大学	「学際融合による蓄電デバイスの革新」FIRST国際シンポジウム	水野 哲孝	蓄電デバイス(リチウムイオン電池、ポストリチウムイオン電池)に関する材料、構造、物性等の分野において著名な研究者を招聘し、講演及び討論を通して、多くの国内研究者に蓄電池関連分野の情報を提供し、最新研究の進捗動向を共有する。特に本プロジェクトの成果を国際競争力のある実用的蓄電デバイスにどのように結び付けるかを議論し、研究の方向性を再確認するとともに、研究の加速を図る。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	13,898千円
国立大学法人東京大学	「ダークエネルギー:地上と宇宙からの観測」シンポジウム及び第4回国際共同研究参加機関代表者会議	村山 斉	国際共同開発研究に準拠した本研究内容を、国際パートナー間で集中討論して合意するとともに、より広い天文・物理分野で世界的権威のある研究者も招聘して意見交換をし、あわせてダークマター・ダークエネルギーの解明がもたらす新しい宇宙観を広く市民に発信する。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	15,562 千円
国立大学法人筑波大学	サイバニクス国際フォーラム2013	山海 嘉之	本プロジェクトで得られた人支援ロボット技術に関する研究成果及び研究進捗状況に関して、情報発信を行う。国内外から当該分野における専門家を招聘し、研究内容等の公開、知識交流することで、プロジェクトへの研究課題の実効性や効率性の向上を図る。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで11,355	11,355千円
国立大学法人京都大学	再生医療応用を目指したiPS細胞の標準化	山中 伸弥	国内外の研究者による細胞核の初期化やES/iPS細胞に関する種々の講演で最新知見を得た後、パネルディスカッションを通して、iPS細胞の標準化に欠かせない品質評価(分化特性やゲノム解析を通した様々な評価等)について、総合的に議論を行う。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	7,266千円
国立大学法人大阪大学	2012年度国際シンポジウム「免疫ダイナミズムの統合的理解にむけて」	審良 静男	免疫学・イメージング・システムバイオロジー・構造生物学それぞれの分野において世界の第一線で活躍する研究者を海外から招聘し、これまでに本プロジェクトで得られた研究成果を共有するとともに、講演・討論を通じて本プロジェクトの今後の研究展開の進展を図る。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 25年3月31日まで	10,867千円

学校法人慶應義塾	脳/心の進化と疾患	岡野 栄之	広く脳と心に関わる学際的なシンポジウムを開催する。今回の開催は、脳科学と心の問題に関する環太平洋地域を中心とした世界の研究者の学術集会との合同開催を計画し、3日間で全6セッションのうち半分をFIRSTセッションとし、iPS細胞技術による精神・神経疾患の病態の解明、霊長類を用いた脳と心の研究、脳の進化の研究等のテーマを設定し、包括的に議論を行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成25年3月31日まで	4,166千円
独立行政法人科学技術振興機構	ライフイノベーションの実現に向けたスカンジナビアとの連携	片岡 一則	本プロジェクトの研究発表・研究交流にとどまらず、レギュラトリーサイエンスの点での研究発表や交流を行う点を特徴として、本分野の北欧の最先端研究の研究者を招聘し、特に研究開発マネジメント、社会還元(臨床開発、製品化等)について共通の課題を議論する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成25年3月31日まで	10,160千円
独立行政法人理化学研究所	強相関量子科学理論フォーラム国際シンポジウム	十倉 好紀	本シンポジウムは、強相関量子科学分野の海外研究者及び国内の研究者を招聘し、招聘講演、口頭発表、ポスター発表、討論から主に理論分野に焦点をあてた4日間の日程で開催する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成25年3月31日まで	13,646千円
技術研究組合光電子融合基盤技術研究所	第2回フォトニクスとエレクトロニクスの融合国際シンポジウム	荒川 泰彦	フォトニクス・エレクトロニクスの分野で世界的に著名な研究者及び特定領域で世界の先端的研究者を招聘し、①光と電子の振舞いを融合させるデバイス、②フォトニクス集積回路とLSIを融合させる実装技術をテーマとして、デバイス物理から工学的手法までの幅広い講演・討論を実施する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成25年3月31日まで	7,057千円
株式会社コンベンションリンケージ	第3回分子追跡放射線治療国際会議	白土 博樹	本プロジェクトが目標とする革新的治療法の開発によるがん治療率の向上に関する講演及び研究進捗の報告を行うと同時に、分子生物学や画像診断を活用した新しい放射線治療法や患者のQOL(quality of life)を向上する医療技術の研究とその将来の方向性について、パネルディスカッションで包括的に議論する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成25年3月31日まで	15,431千円

2. 一般シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	助成額
独立行政法人科学技術振興機構	FIRSTサイエンスフォーラム2012-2013	30名全員	日本を代表するトップ30名の科学者が直接青少年に語りかけ、青少年からも疑問や質問を投げかけてもらうなど、双方向コミュニケーションを通じて、科学技術に深い関心や興味をもってもらい、科学技術を担う人材の裾野を広げることを目的に開催する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成25年3月31日まで	43,489千円